



目標の明確化

「1対1.6対1.6の2乗の法則」というのをご存じでしょうか。これは、人に言われて、いやいや取り組んだときの成果を「1」としたら、人に言われながらも納得して取り組んだ成果が「1.6」、そして、自分から進んで取り組んだときの成果は「1.6の2乗」になるという法則です。取り組むからは、いい成果を出したいですね。つまり、「1.6の2乗」の成果を出すためには、自ら進んで取り組むことが大事だということです。では、どうしたら、自分から進んで取り組もうというやる気になるのでしょうか。そのためには、目標を明確にしなければなりません。つまり、自分が何を達成したいかをはっきりさせることです。中学生にとっても、勉強やスポーツ、趣味など、様々な場面で目標を持つことが重要です。目標を持つことで、効果的な計画を立てることができ、努力を続けるモチベーションも保ちやすくなります。

では、その目標はどのように設定したらよいか。それは、まず具体的に書くことです。目標をあまいにせず、具体的な内容を書きましょう。例えば、「勉強をがんばる」ではなく、「数学のテストで80点以上を取る」といった具体的な目標です。そして、期限を設定しましょう。目標に期限を設けることで、締め切りを意識し、計画を立てやすくなります。期限を決めることで、目標達成への焦りも生まれ、行動が促されます。また、自分の力量に合った目標を設定しましょう。目標を立てる際には、自分の能力や状況に合わせてリアルな目標を設定しましょう。無理な目標ではなく、達成可能な目標を掲げることが大切です。さらには、目標を分割することもポイントです。大きな目標を小さなステップに分けて設定することで、達成しやすくなります。例えば、期末テストで良い成績を取るために、日ごとに勉強時間を決めるといった具体的なステップを踏むことが効果的です。

このように、目標を明確にすることによって、やる気が向上し、努力する意欲=モチベーションが高まり、計画を立てやすくなります。目標がなければ、何のためにしているのか自分の進むべき道を見失ってしまいます。目標が明確であれば、それを達成するための努力や取り組み方も明確になり、何をすれば目標が達成できるのかが分かるため、やる気を持続させることができます。例えば、毎日の勉強時間を記録して目標に近づいているかをチェックすることで、自分の頑張りや成長を実感することができます。目標を達成すると、達成感や満足感を味わうことができます。目標として掲げたテストで高い点数を取ることができれば、自信を持つことができますし、次の目標に向かってさらに前進することができます。これらの要素が揃うことで、モチベーションを長く維持することができます。目標を持ち、それに向かって努力することで、自分の成長や夢に近づくことができるのです。

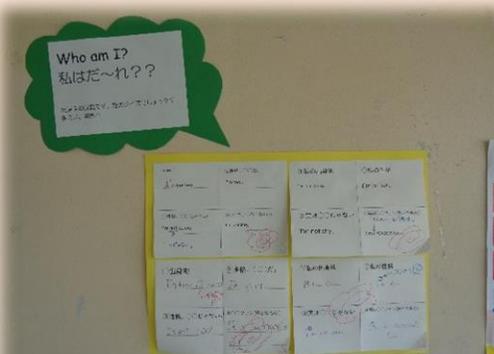
目標の明確化は、人生において成功するための重要なステップです。自分の目指す未来を明確にイメージし、それに向かって努力することが、より豊かな人生を築く鍵となるでしょう。

<学校教育目標>

= 共に学び 共に育ち 共に生きる =
「主体的に学び、よく対話し、他者を理解し、
よりよい社会づくりの担い手となる人の育成」

校内の掲示物を紹介します

校内には、生徒の学習のがんばりを認め合い、互いに高め合えるように、生徒の学習内容やノートを掲示し、生徒同士で学習の仕方やノートのまとめ方などを共有しています。



2月 主な予定

- 6日(火): PTA あいさつ運動
- 8日(木): PTA 運営委員会
- 9日(金): 1,2年生実力考査、英語村
- 10日(土): 私学入試
- 11日(日): 建国記念の日、私学入試
- 12日(月): 振替休日
- 13日(火): 新入生保護者説明会
- 14日(水): 1,2年生教育相談(~20日(火))
3年生進路懇談(~20日(火))
- 15日(木): 2年生 PUSH いのちの出前授業
- 19日(月): 給食なし
小学6年生体験授業・クラブ見学
- 20日(火): 公立特別選抜
- 21日(水): 公立特別選抜
- 23日(金): 天皇誕生日
- 28日(水): 1,2年生学年末考査(~3/1(金))
- 29日(木): 特別選抜合格者発表

※状況により、変更する可能性があります。

一中アンケート結果(生徒編)

学校だより1月号(保護者編)に続き、生徒集計の結果を裏面に掲載しました。